

優秀賞

「がんばっている、おじいちゃん」

福島県

川俣町立飯坂小学校 一年

かんの み月

わたしのおとうさんは、二ねんまえにけがをして、くるまいすをつかうようになつてしまいました。

わたしは、おかあさんとおねえちゃんと一しょに、よくおとうさんのびょういんにいっています。おとうさんは、たくさんびょういんにかよって、一しょうけんめいあるけれど、しゅうをしていきます。くるまいすからおりて、つえをつかってあるけれど、しゅうをしませす。そのときのおとうさんのかおは、いえで一しょにあそんでいるときのかおとぜんぜんちがいます。「いたいけどがんばるぞ。はやくあしをなおすぞ。」っていつているみたいです。

「おとうさん、あともうすこじだよ。がんばって。」
「こえをかけるな。」

「うん。」わたしはほつをみて、おおきくへんじをしてくれます。「一しょうけんめいあるけれど、しゅうをがんばっているおとうさんをみて、わたしは「すごいなあ。」とおもいます。

まい日あるけれど、しゅうをがんばっているのだから、おとうさんのあしは、すこしよくなつてきています。

しかし、いまもけがなおったわけではありません。でも、わたしたちのために、まい日おしごとをやさず、よるおそくまでがんばってくれています。トラックはうんでんできないけど、かいしゃのなかで、パソコンのおしごとをしています。わたしは、はやくおとうさんに、トラックのおしごとをしてほしいです。

びょういんとおしごとでたいへんなのに、やすみの日には、こうえんやおかいものにつれていってくれます。「一しょにゲームもします。「一しょにあそんでいるときのおとうさんのかおは、とってもやさしいかおです。」

いえで、一しょにあそんでいるときは、くるまいすからおりています。くるまいすのかわりに、あしにはすべりどめをつけています。あるくときには、すべりどめと手すりにつかまって、一ば一ばあるきます。かいだんをあがるときは、とてもたいへんで、わたしもお手つだいをするときがあります。そのときにおとうちゃんに、

「ありがとう。」
「ありがとう、とってもうれしいきもちになります。」

いつもわたしたちのために、一しょうけんめいなおとうさん。なににでもがんばるおとうさん。そんなおとうさんが、わたしはだいすきです。

これから、おしごとをがんばってね。やすみの日には、こっぴごめをばいひついで、おとうちゃんにありがとうがう。おとうちゃん、だいすきだよ。